

中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会 会議録

日 時 令和元年12月17日(火) 午後3時～午後3時55分

場 所 市役所会議室21

出席者 (委員) 7名

花岡隆志、月岡篤志、藤村祥江、清水秀朗、湯本美雪、
土屋美佐子、池田徹

欠席：田川真由美、岩本進、斉藤文子

(順不同 敬称略)

(事務局) 4名

子育て課長、青少年未来係長、青少年未来係、子ども
センター所長

1 開 会

(青少年未来係)

これより、中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を開会いたします。
なお、本日ですが3名の欠席の報告を受けておりますので、お知らせいたします。
それでは、開会にあたり子育て課長よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(子育て課長)

委員の皆様には、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

この運営委員会を開催するにあたり、会議の背景を説明させていただきます。

国は、次代を担う人材の育成と共働き家庭が直面する「小1の壁」を打破するという観点で厚生労働省と文部科学省の連携のもと、平成27年度から平成30年度までの4年間を期間とする放課後子ども総合プランを策定し、市でもこのプランに基づき放課後児童クラブと放課後子ども教室の両事業の充実に努めてまいりました。資料にあります実施要領はその頃できたものであります。

しかし、子育てをしている女性の就業率が上がりまして、ますます放課後の居場所が必要となってきています。国では、2019年度から5年間の「新・放課後子ども総合プラン」を策定いたしまして、放課後児童クラブの待機児童の解消や、放課後子ども教室を全ての学校で実施するなどの新しい目標を掲げております。

中野市はどうかというと、昨年度子育て課で実施しました、子ども子育てに係るニーズ調査の結果として、就学前児童の保護者ではフルタイムで働くお母さんが平成25年度と平成30年度の5年間で比較しますと約6%上昇しています。逆に子育てに専念して仕事をしていないお母さんが約6%減少、また、小学校のお母さんにとっては、フルタイム、またパートで働く方が8割以上という結果になっておりまして、これを受け放課後児童クラブの利用数も年々増加傾向になっておりますが、今のところ待機児童は出ていない状況でございます。

本日ですが、このような背景のもと、小学校の統合による放課後児童クラブと放課後子ども教室の課題、また、新・放課後子ども総合プランに対する中野市の方針

についてご協議いただく場を設定させていただきました。皆さまのお知恵をお借りしまして今後の運営に生かしたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。

最後になりますが、放課後子ども教室に参加してくださるボランティアの方が不足しております。どなたか子どもたちと一緒に過ごしてもいいという方がいらっしゃいましたらご紹介いただければと思います。それでは本日はよろしく願いいたします。

3 会議事項 《湯本副会長が進行》

(1) 小学校統合に伴う放課後児童クラブについて

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料に基づき青少年未来係長説明

(会 長) 小学校統合に伴う放課後児童クラブについて、ご意見・ご質問等ありますか？

(委員)

高社小学校の近くに放課後児童クラブを建設していただけることにとってもありがたいと思っております。許容人数の確認ですが、現平岡放課後児童クラブもそのまま利用するということで、プラス 100 人ということですか？

(青少年未来係長)

その通りです。現在の平岡放課後児童クラブも利用人数が多く、少し窮屈な状況もありますが、それについてもクリアできると考えております。

(委員)

資料より北部 4 地区クラブの定員を合わせると 160 人、先ほどの課長のあいさつの中で、待機児童がないとのこと、でもクラブを利用する人は年々増えてきているとの話ですが人数は大丈夫なのか？

(青少年未来係長)

平日利用人数で考えていますので、登録人数とは別に一人あたりの面積確保という面では十分確保できるという計画でおります。

(委員)

では、当日の利用者は定員よりも少ないということで、登録人数が増えても施設の大きさはまかなえるということですか？

(青少年未来係長)

その通りです。実際に利用する児童は少なくなります。

(子育て課長)

補足説明ですが、現平岡放課後児童クラブの定員 60 人ということですが、実際は

増えている状況でして、隣の消防センターをお借りしてまかなっていますので待機児童がないという状況です。新しく建設する施設については、長丘、科野、倭の3校の子どもたちも含め待機児童がでない施設となるよう考えています。

他に意見等なし

(2) 令和2年度「放課後子ども教室」について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 子育て課青少年未来係長説明

(会 長)

令和2年度「放課後子ども教室」について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

延徳小と平岡小が2部制と記載があるが2部制とは何か？

(子どもセンター所長)

下校時間も違うということで低学年と高学年に時間を分けて行っています。

(委員)

長丘小学校もやっていただいて、子どもたち本当に楽しそうにやっています。高社小学校に統合にあたり、無くなることには残念だねと話していますが、本日午前中別の会議がありまして、ある中学校のメディアリテラシーの資料が出てきたんですが、休日に3時間以上ゲームやインターネットや動画などを見ている子が50%以上、平日でも1時間以上の子を合わせると半分という内容。それも中学に入ったから増えたわけではなく、たどっていくと小学校の時から親御さんが帰ってくるまでの時間に、っていうところがスタートだったりするのかなと思っています。それも学校でも考えていかなければならないところですが、同時に、先ほど説明いただいた放課後に子どもたちの安全で安心な健やかな居場所づくりというところを考えていただいて、できれば大きな学校でも何らかの形で実施できればいいと思います。あくまでも感想と要望です。

(青少年未来係長)

この後のプランの説明において、この件についての目標等お話しさせていただきます。ご意見ありがとうございます。

(子育て課長)

資料に中野市の日野小学校の事例ということで、長野県教育委員会ホームページに載っていますが、これ以外にも近隣の学校の事例が載っていました。例えば木島平小学校では5、6年生が算数教室、3、4年生が英語教室といったような、体を動かすという観点ではなくて学習的な教室もできるような内容を組み込んでやっている所もあります。今、学校でやっている地域学習の放課後版のような形でもできないだろうかと考え始めたところですが、かと言って子どもたちは体を動かし汗びっしょりになって生き生きと活動しているもので、私も見に行きましたが、学習的

なものより体を動かして遊ぶということに子どもらしさを感じているので、何とか学年等区切ってやるなど今後の課題であります。ただ、100人を超える子どもたちが一斉に体育館で遊ぶとなるととても危険な状態だと思いますので、そこをクリアできないか、今後考えていきたいと思っています。

他に意見等なし

(3) 令和2年度「放課後児童クラブ」について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 子育て課青少年未来係長説明

(会 長)

令和2年度「放課後子ども児童クラブ」について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

休日及び使用時間のところで土曜日はどこにあたるのか？

(青少年未来係長)

休校時（8：00～18：00）の表記に土曜日も含まれています。

他に意見等なし

(4) 新・放課後子ども総合プランについて

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 子育て課青少年未来係長説明

(会 長)

新・放課後子ども総合プランについて、ご意見・ご質問等ありますか。

(子育て課長)

補足として、今年から新しい取り組みとして「(7) 特別な配慮を必要とする児童への対応」ですが、放課後児童クラブに配慮を必要とする子がいて支援員が対応で困ってしまう状況が度々あります。支援員も有資格者とそうでない人という中で、そういう時には今年から子ども相談室の職員がまず放課後児童クラブに行き子どもたちを見に行く、子ども相談室の職員は色々な研修もしていますし、その子にあった支援法を知っているので、取り組みとして相談室と連携してみたいという風に新たに始めてみましたが、これは今後も計画したいと思っています。

他に意見等なし

4 その他

(青少年未来係長)

今後の予定について説明。

※会議事項終了

5 閉 会

(青少年未来係)

それでは、以上を持ちまして、中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を閉会いたします。